

実践経営学会

第55回全国大会プログラム

統一論題

グローカリゼーションにみる実践経営の新地平 ～祭りと実践経営～

第55回大会実行委員長 伊佐 淳 (久留米大学経済学部)

■ “出てきんしゃい、ほとめきの街久留米へ” を合言葉に (第55回大会趣旨)

実践経営学会第55回大会プログラムをお届けいたします。

本大会のテーマは、「グローカリゼーションにみる実践経営の新地平 ～祭りと実践経営～」です。

人々は祭りを通じて、地域における助け合い(共助)や地縁を再認識し、そこから地域文化を継承しつつ、地域に根ざした絆やもやい結びを意識するのではないかと思います。一方で、グローバル化の影響をますます受けるようになってきた地域企業にとって、地域の人々や文化やさまざまな資源に根ざした「グローカリゼーション」の考え方が重要度を増してきていると言えます。また、個々の企業経営の面から見ても、祭りから見い出せるものは、極めて大きいといえるのではないのでしょうか。

祭りの運営過程(企画・検討・実施・反省)は、企業経営でいうPDC Aサイクルにあたるでしょうし、祭りの参加者・関係者のモチベーションの維持・向上と企業経営のそれとの共通するものがありそうです。成功する祭りの本質を考えることで、企業経営の本質に迫ることができるかもしれません。

そこで、記念すべき第55回大会を日本を代表する絵画の収蔵で知られる石橋美術館(有名画家が多数輩出)と豚骨ラーメン発祥地で有名な久留米市で開催し、その議論の場を提供することにいたしました。会員の皆様の自由闊達なご議論の展開を期待しております(大会の回数もGo Goと読めます)。

さて、本大会では、統一論題のために3本の柱を立てました。

第1の柱は、8月3日のエクスカージョンです。統一論題を考えるにふさわしいユニークな経営の現場を訪ね、経営者の企業経営に対する考え方(“ものづくりは演歌だ”など)や手法をうかがいます。

第2の柱は、2日目の特別講演です。社長自ら農林漁業の現場へ飛び込み、地元生産者とネットワークを構築していくことで、関係者全てが“Win-Win”の関係になるような仕組み作りを実践されています。まさに“経営は祭りだ”を地で行くように、自社事業を繁栄に導いておられる地元の異色経営者の講演です。お二人の経営者共に筑後地域(久留米市を中心とした福岡県南部)の地域産業である第1次産業を軸に据えた「グローバル経営」を実践されていることが共通点となっています。

そして第3の柱は、伝統ある久留米市の一大イベント「第41回水の祭典・久留米まつり」(8月3～5日に開催)です。市中心部の明治通りや六角堂広場で市民あげて行われるマーチングやストリート・パフォーマンス、「1万人のそろばん踊り」など、さまざまなイベントが繰り広げられます。祭りの本質に触れるには体感が大変重要ですので、会員お一人お一人の目で、耳で、そして心で感じ取っていただきたいと思います。ここで不躰ながら、親近感をもっていただくために、この紙面をお借りして久留米弁の基礎を軽くご紹介しておきます。

●行く(くる)、とつても(がば)、～らしい(～げな)」、～でね(～さい)、「よく来られました(よー、こらっしゃった)など。

本大会プログラムの詳細は、以下の通りです。

■日程:2012年8月3日(金)～8月5日(日)

■会場:8月3日(金) 企業見学(株式会社筑水キャニコム)
理事会(ハイネスホテル久留米)
8月4日(土)-5日(日) 久留米大学御井キャンパス
〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635

■大会日程

8月3日(金) 遅れての参加、当日参加はご遠慮ください。

集合時間 12:40 JR久留米駅東口での待合せ →12:50 西鉄久留米駅東口での待合せ

出発時間 13:00 西鉄久留米駅東口からチャーターバスにて出発

14:00～16:00	16:50～19:00
■企業見学：((株)筑水キャニコム) 場所=筑水キャニコム関連施設	常任理事会・理事会 会場=ハイネスホテル久留米会議室

※株式会社筑水キャニコム：農業用・土木建設用・林業用運搬車・草刈作業車及び産業用機械の製造販売。

“ものづくりは演歌なんだよね！浪花節なんだよね！義理と人情をお届けします”という有名なトップメッセージを発して快進撃を続けている会社です。

8月4日(土)

受付開始 10:00 久留米大学 御井学生会館 3階

10:30 ～11:55	12:45～13:00	13:00～14:20	14:30～16:15	17:00～19:00
自由論題 ※1時間 25分 ※ 11:55～ 12:45 (昼食)	挨拶 ・平野文彦会長 ・久留米大学 山田敏和経済 学部長 ・伊佐 淳大会 実行委員長	統一論題 ★介護分野 吉永美佐子氏 堀江 利治氏 ★環境分野 林 眞一氏 白仁田裕二氏 ★地域おこし分野 原口 彰氏 松藤富士子氏 分科会形式 ■総括 伊佐淳大会実行委員長	特別講演 ◆ベストアメニティ 株式会社 内田 弘 社長 16:00～16:15 ■総括 平野文彦実践経 営学会会長	研究・情報交換会 (ハイネスホテル 久留米にて) ・乾杯の音頭 小坂前大会実行 委員長

会場=自由論題 久留米大学 御井学生会館 3階

統一論題 久留米大学 御井学生会館 3階

※ベストアメニティ株式会社：食品卸売業・レストラン事業・旅館業・農業事業。

「体にやさしい、おいしい健康」をテーマに、全国の生産者の協力のもと「雑穀米」など数々の商品開発し、「安心・安全な商品」の提供にまい進している会社です。

8月5日(日)

受付開始 9:00 久留米大学 御井学生会館 3階

9:30～10:55	10:55～12:15	12:45～14:30
自由論題 ※1時間 25分	会員総会	フェアウェル・パーティ 久留米大学学食にて

会場=会員総会 久留米大学 御井学生会館 3階

自由論題 久留米大学 御井学生会館 3階

なお、8月4日の統一論題発表者6名の方々との懇談会を下記のように設定しておりますので、ご興味のお有りの方はこぞってご参加ください。

16:00～
※地域ビジネス・リーダー(6名)懇談会 別会場にて

実践経営学会 第55回全国大会実行委員会

■アクセス

- ・JR久留米駅から①タクシー20分又は②西鉄バス「千本杉經由信愛女学院行、竹の子行、青峰団地行」(1・8・9・40・45・48番)で「久留米大学前」下車徒歩5分
- ・西鉄久留米駅から①タクシー10分又は②西鉄バス「千本杉經由信愛女学院行、竹の子行、青峰団地行」(1・8・9・40・45・48番)で「久留米大学前」下車徒歩5分
- ・福岡空港から西鉄高速バスで45分西鉄久留米駅下車又は福岡空港から地下鉄で10分天神駅下車その後西鉄福岡天神駅から西鉄特急で28分西鉄久留米駅下車。西鉄久留米駅からは①タクシー10分又は②西鉄バス「千本杉經由信愛女学院行、竹の子行、青峰団地行」(1・8・9・40・45・48番)で「久留米大学前」下車徒歩5分、

■宿泊について

福岡県久留米市内にはホテルがたくさんありますので、各自、インターネット等でご予約ください。久留米大学の最寄り駅=西鉄久留米駅前には、久留米ホテルエスプリ、久留米ワシントンホテルプラザ、東横イン久留米など多数あり、便利です。つきましては、地元の活性化のために久留米での宿泊について是非ご協力をお願い致します。以下に各ホテルの料金を載せておきますのでご利用ください。なお、宿泊申込を希望される場合にはホテルまでご連絡下さい。(その際、実践経営学会員と伝えてください)

[会員料金]

- ① 久留米ホテルエスプリ (西鉄久留米駅徒歩1分 TEL0942-31-1300)
シングル(21.6㎡) 5,670円(税込) ※朝食なし宿泊
ご朝食ご希望の場合はおひとり様につき840円でご用意させていただきます。
 - ② 久留米ワシントンホテルプラザ (西鉄久留米駅徒歩5分 TEL0942-32-0410)
シングル(13.5㎡) 6,000円(税別) ※朝食付き宿泊
 - ③ 東横イン久留米 (西鉄久留米駅徒歩2分 TEL0942-35-1045)
シングル(12.5㎡) 5,480円 ※朝食付き宿泊
- ★上記客室タイプは、全て禁煙ルームです。

※わからない点などがあれば、第55回大会事務局へお問い合わせください。 TEL 0942-43-4868

■参加費

- 会員 参加費 6,800円 (6月末日までに振り込みの場合5,800円)
研究・情報交換会 6,000円 (6月末日までに振り込みの場合5,000円)

●振り込み先 実践経営学会全国大会実行委員会

6月上旬に、プログラムと一緒に郵便局の払込取扱票を郵送いたします。6月末日までに振り込みをお願いいたします。お早い振込みをお願いいたします。

実践経営学会 第55回全国大会実行委員会 本部事務局

久留米大学経済学部 代表 TEL 0942-43-4411

- ・実行委員長 伊佐 淳(久留米大学教授)
isa_atsushi@kurume-u.ac.jp 携帯 090-4484-0044
- ・実行委員会事務局長 増山正紀(特定社労士)
masakim@wine.ocn.ne.jp 電話 0942-43-4868
- ・大会実行委員：柿本義一(九州支部事務局長・経営コンサルタント)、菊次真由美(特定社労士)、柳 純(福岡女子短大准教授)、宮脇敏哉(事業創造大学院大学教授)、須川一幸(地域振興研究所代表)
- ・大会プロデューサー：前原寿代(演劇ファシリテーター)
- ・大会スタッフ：奥田みどり、野田裕子